



競輪補助事業完了のお知らせ

この度、公益財団法人 JKA 様から 2026 年度福祉車両の整備補助事業の交付を受けて、下記の事業を完了いたしました。

本事業の実施により、安全で快適かつ円滑な送迎サービスや余暇活動の充実等において、ご利用者様にさらに喜んでもらえるサービスが提供できるようになりました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益社団法人 JKA をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

事業名	2026 年度 福祉車両の整備 補助事業
事業の内容	車いす仕様リフト式（日産セレナ チェアキャブ リフタータイプ）
総事業費	¥ 3,900,000 円
補助金額	¥ 2,550,000 円
実施場所	埼玉県さいたま市桜区田島 7 - 19 - 11 社会福祉法人 南桜会 けやき
完了年月日	令和 8 年 7 月 31 日

以上



社会福祉法人 南桜会
理事長 細淵 紀雄

補助事業者名	社会福祉法人 南桜会 けやき	事業項目名	福祉車両の整備(リフト車)
--------	----------------	-------	---------------

JKA補助事業 2026年度 自己評価書

補助事業の自己評価

作成日	2026	年	9	月	16	日	作成者	森井 光喜
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画書の達成状況等を把握し、分析・評価してください。						採点
(1) 受益者とそのニーズ	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)					
(2) 事業内容	予定通り福祉車両(日産セレナ・リフト車)を導入しました。2026年8月4日より使用しています。					
	実施計画・体制	定期理事会にて話を進めていたので、本年度の予算組みから入札・支払い・納品まで順調に進みました。また、事務局との情報共有等、円滑な運用ができる体制でした。				4
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和8年7月31日	[達成状況] 100%	[具体的内容] 中東情勢の影響を受ける話も出ていましたが、当初の予定より早く整備する事ができました。 納入業者の担当者より車両の説明を受け、職員間で共有する事ができました。		4
	事業の成果・波及	[達成値] 往路・復路 平均4～5名	[達成状況] 80%	[具体的内容] 朝・夕の送迎業務で使用。 日によって利用者の送迎コースが変わるものの、一日約40キロ～50キロの送迎を月曜日から金曜日まで使用しています。 また、送迎以外でも日中は職員の移動・利用者の社会参加に利用しています。		4
(4) 広報計画	事業の実施結果	[達成値] 1回 1回 0回	[達成状況] 100% 100% 0%	[具体的内容] 1・法人のホームページにて、補助事業完了報告を掲載。 2・SNS(Instagram)にて整備完了の報告。 3・保護者・利用者用の法人だよりへの掲載(令和9年1月頃の冬号に掲載予定)		3
(5) 自己評価の体制	各施設管理者5名・月に一度の施設長会議にて評価(9月11日開催) 自己評価結果の公表・理事会(9月16日開催)にて審議・公表(法人HPにて自己評価書は掲載予定)					4

(b) 総合評価

●(a)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。		総合評価点	4
(1) 事業全体についての意見・所感	物価高騰の影響を受け、福祉業界全体において厳しい経営状況が続く中、今回のJKA補助事業を活用し、新たな福祉車両を整備することができましたことは、施設運営において大変ありがたく、非常に大きな支援となりました。 また、当初の計画よりも早期に福祉車両を導入することができたことで、ご利用者様がより安全かつ快適に日々通所していただける送迎体制を、早急に整えることができました。 さらに、新しい福祉車両の導入により、送迎時の職員の負担軽減や業務の効率化にもつながり、職員がより安心して支援業務に取り組める環境の整備にも寄与しております。		
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	当初の計画よりも早期に福祉車両を整備することができ、予定していた時期よりも前倒しで導入を実現することができました。 一方で、相見積もりの作成にあたっては、各事業者の担当者による提案内容や価格設定、値引き額等に違いがあり、同一の条件で見積もりを比較・作成することについて、若干の難しさがありました。そのため、各事業者との調整や条件の確認に一定の時間を要しましたが、必要な確認を丁寧に行い、適正な比較検討ができるよう努めました。		
(3)その他アピールしたい点 是非知ってもらいたい点	福祉車両を送迎に活用させていただき、ご利用者が安全かつ快適に通う事ができるようになりました。 また、他施設とのつながりや情報交換を通じて、今回のJKA補助事業の有効性や優れた点について共有するとともに、実際の活用事例を踏まえた助言を行うことができました。		

補助事業者名	社会福祉法人 南桜会 けやき	事業項目名	福祉車両の整備(リフト車)
--------	----------------	-------	---------------

JKA補助事業 2026年度 自己評価書

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
		＊	(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)	福祉業界全体の厳しい経営状態に人員の採用・配置がまだ整っていない状況。	新たに求人情報への掲載・契約を進め、広く職員募集のアピールを進めています。
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
		＊	(7) その他	車椅子の高さ(前座高)が高い車椅子だと、リフト車への移乗で高さが足りない場面がありました。	乗車利用者の変更や車椅子の変更と改良を検討します。
外部要因	＊		(8) 受益者の規模・ニーズ	今年度中に新たに5名の利用者がサービス利用を開始する予定になっている状況のなか整備ができました。	整備により今後増える予定の利用者への送迎業務が期待できます。
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
		＊	(12) 災害の発生 (地震、洪水等)	社会情勢(中東)の影響を受け、部品の調達が難しい状態だったと報告を受けています。	前もって法人内での納期の遅れなどや状況を、情報共有の頻度を上げる努力を心がける。
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		
			(16) 特になし		